

敵基地攻撃で日米が「融合」

憲法と「専守防衛」覆す

衆院予算委 日本共産党 志位委員長

危険性を正面から追及

『「安保3文書」は、『専守防衛』という戦後の歴代政権が掲げてきた安全保障政策を根底から覆す重大な内容だ』。日本共産党の志位和夫委員長は31日の衆院予算委員会で、岸田政権が「反撃能力」の名で敵基地攻撃能力を保有し、5年間で4.3兆円という空前の大軍拡を強行する『「安保3文書」の違憲性と危険性について正面から追及しました。』

◀ 予算委員会で質問する志位和夫委員長

国会中継 ▶



米インド太平洋軍「IAMD構想2028」

- インド太平洋軍の広大な管轄では、同盟国や友好国が絶対に重要
- 同盟国と「隣に並んでの(サイド・バイ・サイド)統合」でなく、「切れ目のない(シームレス)な融合」
- すべてのプレーヤー・コーチが、同じブレイクを持ち、一緒に訓練し、一緒に作戦を実行。敵からは1つのチームと見られる。

歴代答弁と 安保3文書 との矛盾

「まずただしたいのは、敵基地攻撃能力の保有は日本国憲法にてらして許されるのかという根本問題だ」。志位氏は、敵基地攻撃能力は憲法違反だとしてきた歴代政権の答弁と安保3文書との矛盾を追及。岸田首相は事実上、答弁不能に陥りました。

長距離ミサイルの保有が地域の緊張と対立激化させる

志位氏は、違憲の敵基地攻撃を担う「スタンド・オフ・ミサイル」について、「他国に脅威を与える」兵器だと強調。安保3文書が「専守防衛に徹し、他国に脅威を与えるような軍事大国にならない」としていることと「根本的に矛盾している」と追及しました。



導入するスタンド・オフ・ミサイル (長射程ミサイル)

12 式地对艦誘導弾能力向上型

射程を従来型の 200 ㎞から 1000 ㎞以上の延伸。地上だけでなく艦船、戦闘機にも配備 (開発中)

極超音速誘導弾

スクラム・ジェットエンジンを搭載。マッハ5以上の速度で飛行、迎撃困難に。射程は 3000 ㎞?

高速滑空弾

迎撃困難な高高度を極超音速で滑空し、落下・対地攻撃 (開発中) 射程は 2000 ㎞?

トマホーク

イラク・アフガニスタンなど米の先制攻撃戦争で繰り返し使用。射程は 1600 ㎞以上 (米から購入)

IAMD (統合防空ミサイル防衛) 同盟国に「融合」を求める米国

「米軍と自衛隊が『融合』するように一体化するもとの、敵基地攻撃能力が使われる」。志位氏は米軍の資料を示しながら、敵基地攻撃能力の危険性を告発。岸田首相は、「わが国の統合防空ミサイル防衛と米国の IAMD は別物だ」と弁明。これに対して志位氏は、米インド太平洋軍の「IAMD構想2028」を示して反論し、自衛隊だけ独立した指揮系統で行動するのはありえないと指摘。「憲法違反であるだけでなく、国連憲章と国際法違反の無法な戦争に乗り出すことになる」と批判しました。

大軍拡は「日本を守るため」か

志位氏は、首相は敵基地攻撃能力の保有は「日本を守る」ためだと繰り返すが、安保3文書は、集団的自衛権を行使する場合も敵基地攻撃能力を行使できると明記しており、先制攻撃の戦争であっても、自衛隊は米軍と融合し、敵基地攻撃を加えることになる」と指摘。「その結果は、相手国の報復攻撃による国土の焦土化だ」と警鐘を鳴らしました。

国民の声をきかず、戦争する国づくりをすすめる岸田政権に NO の審判を

2月11日 (土・祝) 14:00~

日本共産党オンライン東京演説会

4月の統一地方選挙勝利へ!

約 200 人の予定候補者が勢揃いぜひご視聴ください!



参議院議員 (東京選挙区選出)

やまぞえ・たく

山添 拓



ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2023年2月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。発行/東京民報社 (港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党

敵基地攻撃で日米が「融合」

憲法と「専守防衛」覆す

衆院予算委 日本共産党 志位委員長

危険性を正面から追及

『「安保3文書」は、『専守防衛』という戦後の歴代政権が掲げてきた安全保障政策を根底から覆す重大な内容だ』。日本共産党の志位和夫委員長は31日の衆院予算委員会で、岸田政権が「反撃能力」の名で敵基地攻撃能力を保有し、5年間で4.3兆円という空前の大軍拡を強行する「安保3文書」の違憲性と危険性について正面から追及しました。

◀ 予算委員会で質問する志位和夫委員長

国会中継 ▶



米インド太平洋軍「IAMD構想2028」

- インド太平洋軍の広大な管轄では、同盟国や友好国が絶対に重要
- 同盟国と「隣に並んでの(サイド・バイ・サイド)統合」ではなく、「切れ目のない(シームレス)な融合」
- すべてのプレーヤー・コーチが、同じブレイクを持ち、一緒に訓練し、一緒に作戦を実行。敵からは1つのチームと見られる。

歴代答弁と 安保3文書 との矛盾

「まずただしたいのは、敵基地攻撃能力の保有は日本国憲法にてらして許されるのかという根本問題だ」。志位氏は、敵基地攻撃能力は憲法違反だとしてきた歴代政権の答弁と安保3文書との矛盾を追及。岸田首相は事実上、答弁不能に陥りました。

長距離ミサイルの保有が地域の緊張と対立激化させる

志位氏は、違憲の敵基地攻撃を担う「スタンド・オフ・ミサイル」について、「他国に脅威を与える」兵器だと強調。安保3文書が「専守防衛に徹し、他国に脅威を与えるような軍事大国にならない」としていることと「根本的に矛盾している」と追及しました。



導入するスタンド・オフ・ミサイル
(長射程ミサイル)

12 式地对艦誘導弾能力向上型

射程を従来型の 200 ㎞から 1000 ㎞以上の延伸。地上だけでなく艦船、戦闘機にも配備（開発中）

極超音速誘導弾

スクラム・ジェットエンジンを搭載。マッハ5以上の速度で飛行、迎撃困難に。射程は 3000 ㎞？

高速滑空弾

迎撃困難な高高度を極超音速で滑空し、落下・対地攻撃（開発中）
射程は 2000 ㎞？

トマホーク

イラク・アフガニスタンなど米の先制攻撃戦争で繰り返し使用。射程は 1600 ㎞以上（米から購入）

IAMD（統合防空ミサイル防衛） 同盟国に「融合」を求める米国

「米軍と自衛隊が『融合』するように一体化するもとの、敵基地攻撃能力が使われる」。志位氏は米軍の資料を示しながら、敵基地攻撃能力の危険性を告発。岸田首相は、「わが国の統合防空ミサイル防衛と米国の IAMD は別物だ」と弁明。

これに対して志位氏は、米インド太平洋軍の「IAMD構想2028」を示して反論し、自衛隊だけ独立した指揮系統で行動するのはありえないと指摘。「憲法違反であるだけでなく、国連憲章と国際法違反の無法な戦争に乗り出すことになる」と批判しました。

大軍拡は「日本を守るため」か

志位氏は、首相は敵基地攻撃能力の保有は「日本を守る」ためだと繰り返すが、安保3文書は、集団的自衛権を行使する場合も敵基地攻撃能力を行使できると明記しており、先制攻撃の戦争であっても、自衛隊は米軍と融合し、敵基地攻撃を加えることになる」と指摘。「その結果は、相手国の報復攻撃による国土の焦土化だ」と警鐘を鳴らしました。

国民の声をきかず、戦争する国づくりをすすめる岸田政権に NO の審判を

2月11日（土・祝）14:00～

日本共産党オンライン東京演説会

4月の統一地方選挙勝利へ！

約 200 人の予定候補者が勢揃い
ぜひご視聴ください！



東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2023年2月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党